

GK日本語学校入学式、初の授業見学会

5月9日、本社新大会議室にてGK日本語学校2024年4月期生の入学式が行われました。新たに21名の新入生を迎え、在校生73名を含め、現在94名の学生が在籍しています。式典には多くの来賓が出席し、棕本社長をはじめ、GK日本語学校の川口校長、在校生代表、新入生代表からの挨拶がありました。挨拶からは、新しい環境での生活や勉強に対する決意や意気込みが感じられました。

棕本社長：日本語学習に加え、日本文化や様々な体験をしてほしいと願っています。生活する上で不安があれば、会社側が全力でサポートをします。勉学に励み、ご活躍されることを期待しています。

川口校長：積極的に日本語を話し、人とのつながりを広げていってほしいと思います。自分の知らなかった世界を知ることはもちろん、自分自身を知ることも大きな意義があります。留学生活が充実したものになるよう共に頑張りましょう。

在校生代表スヌワル・スニルさん：日本に来てわかった大切なことは、日本語の勉強、時間、ルール、約束です。日本での生活は、大変なこともあります。自分でできることが増えます。自分の力を信じて、前に進んでください。必ずいい将来が待っているの、最後まで一緒にがんばりましょう。

新入生代表ゼヤ・モさん：日本にいることに興奮しています。日本での学びや経験を通じて、日本の文化をもっと深く理解し、素晴らしい思い出を作りたいです。さまざまな学問やスキルを身につけ、日本の大学進学という目標に向かって、一生懸命努力します。



5月15日、本社4階にあるGK日本語学校にて、初の授業見学会が開催されました。本社およびレストランから59名が参加し、学生たちの熱意や日本語能力の高さに感動の声が寄せられました。

学生がアルバイトをしている店舗の店長さんも見学に訪れ、まるで親のように学生が勉強している様子を見守っていました。学生たちも、学校の教員以外の方々と話をしたり意見交換をし、交流を楽しんでいました。

社員たちもこの見学会を通じて、GK日本語学校に対する理解を深めました。今後も多文化共生の機会を創出し続けることが期待されます。

